

2019年度児童発達支援・放課後等デイサービス 事業所自己評価及びアンケート結果対比表

	事業所評価		チェック項目	利用者評価			
環境面	どちらとも 25%	はい (75%)	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	はい (100%)			
	はい (100%)		職員の配置数や専門性は適切か	はい (95%)	5%		
	はい (100%)		事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい (90%)	どちらとも 10%		
適切な支援の提供	どちらともいえない (50%)	はい (50%)	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか	はい (100%)			
	どちらともいえない (75%)		活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	はい (90%)	どちらとも 10%		
連携	12.5	どちらともいえない(75%)	12.5	はい (30%)	どちらとも (65%)	5%	
説明責任	どちらとも 25%	はい (75%)	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか 個別支援計画について十分な説明がされたか	はい (100%)			
	12.5	12.5	はい (75%)	はい (100%)			
	12.5	はい (87.5%)		はい (75%)	どちらとも 20%	5%	
	いいえ (37.5%)	どちらとも (50%)	12.5	はい 25%	いいえ (50%)	いいえ 25%	
	無回答 12.5	12.5	はい (75%)	はい (95%)		5%	
	無回答 12.5	はい (87.5%)		はい (100%)			
	無回答 12.5	12.5	どちらでも (50%)	はい 25%	はい (80%)	どちらとも 15%	無回答 5%
	無回答 12.5	はい (87.5%)		はい (95%)		5%	
非常時の対応	無回答 12.5	12.5	どちらとも (50%)	はい 25%	はい (85%)	15%	
	無回答 12.5	どちらとも (37.5%)	はい (50%)	はい (55%)	どちらとも (45%)		
その他			子どもは通所を楽しみにしているか	はい (100%)			
			事業所の支援に満足しているか	はい (95%)	5%		

- ご意見
- ・定員5名に対して十分な広さだと思います。
 - ・入口がスロープになっているが、押しボタンのドアは入りにくい。
 - ・全てフラットになっており、肢体不自由児でも使いやすい設備になっていてありがたいです。
 - ・どのように過ごしたのか連絡帳や送迎時間けるので安心していきます。
 - ・こちらの希望は十分に反映されていると思います。
 - ・色々な遊びや体験をさせてもらっておりアイデアに感心します。
 - ・学校で近隣の小学生との交流もあるので放デイにそこまでを求めています。
 - ・送迎の際にお話を聞いたり、連絡帳に詳しい記述があるので助かります。
 - ・ファミリンク等で家族同士の交流を図って頂きありがとうございます。
 - ・帰りの際に今日の様子を聞かせて頂くのが毎回楽しみです。
 - ・毎回とても良い表情をして楽しませてもらっています。
 - ・帰ってくるといつもいい表情をしています。
 - ・活動内容は大変満足していますが、自宅まで送迎して頂けるとさらにありがたいです。（長期休暇中も）
 - ・スタッフの皆様が話しやすく明るいので、とても雰囲気良く、丁寧に対応して下さるので感謝しています。
 - ・安心してお任せしています。

自己評価とアンケートについて

共通点
 環境面、説明方法については概ねポジティブな意見で一致していた。また保護者会開催、外部との交流、非常時や感染時対策の周知、自己評価公表についてネガティブな意見で一致していた

相違点
 自己評価としては、適切な支援の提供に関して、どちらとも言えないという意見が多く、家族評価とは相違があった。

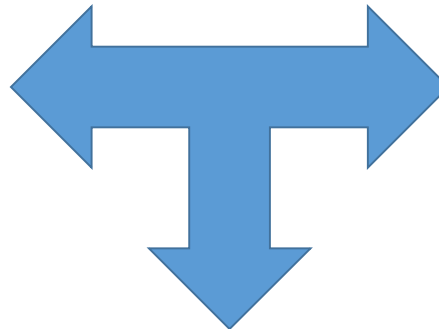
事業所の強みと改善点

強み

支援環境や説明方法、一定の評価をいただきました。また、自由記載の中でも概ね評価いただいている声をいただきました。ご家族からは、実際提供されている支援についても、現状の取り組みが一定の評価をいただきました。

改善点

施設、保護者側はともに保護者会を開催すること、外部交流機会を設けること、緊急時や感染時対応の周知をすること、自己評価結果を公表することを必要と考えているという点で一致しました。災害時の訓練状況についても周知が必要なところ。また、施設としては支援内容について、より改善が必要と捉えており、充実した支援が行えるよう取り組みが必要です。



改善に向けた取り組み

日々の支援内容の充実に関しては既に取り組みが始まっているところ。施設内会議、所内外研修を通して充実を図っていきます。災害時訓練についてはFacebookでの活動報告をしております。また、緊急時対応訓練等も計画しており、周知方法について検討していきます。外部交流機会については、日常的に近隣施設との交流は始まっており、多くの外部の方に来所いただいている実績も増えてきています。また、施設イベントの中できょうだい児も参加できる取り組みを行ったりしています。施設単位での保護者会の開催については、駐車場確保が難しいため現実的ではありません。施設イベント中での保護者同士の交流を継続的に計画していきます。